

Q

公共施設使用料徴収―市長の政治判断で即見直しを！

A

3年後に見直しする

加藤 温子

問 高校生以下、個人1時間単位での使用料徴収より、無駄削減が先決。市民負担は最後と思うが。

答 低い料金設定をしている。3年後に見直しをする。

市民が納得できる税の使い方のなか

問 平成11年、深谷オーキッドファームと土地・建物の賃貸契約。平成22年度まで約1億円の未納。対応と今後は。

答 賃貸借契約の解除を決定。未納額は催告していく。今後は目的に沿った利用を考える。

旧埼玉県教育センターの活用、子供から老人までの複合施設として。また、市民意見の募集の考えは。

答 公共施設の耐震化を図っていく中で、適正配置を考え活用を検討する。



旧埼玉県立総合教育センター

寄附講座、平成23年に2名、平成24年に1名、計3名確保。平成25年度未まで継続。②後期研修医研修資金貸与制度は平成24年3月現在、応募者なし。所用額は2名3年間で1440万円。毎年2名で5年間募集。③医師育成奨学金貸与制度、平成24年度入学者予定者については応募者40名(県内34・外6)最終的に候補者2名及び補欠候補者13名を選考。3月19日現在、大入学者結果は未定。所用額は2名分、最終学年30年度まで9842万円。毎年2名募集で5年間取り組む。平成24年入学者の勤務は11年後。

Q

生物多様性の確保と自然環境の保全を考えた地域戦略の策定は？

A

深谷市環境基本計画において生き物にやさしい環境づくりに努めていく

中矢 寿子

平成22年に策定された生物多様性基本法では、生物多様性の保全と利用をバランスよく推進することが掲げられている。3項目について質問する。①地域の生物多様性の保全について。②外来生物等による被害防止について。③自然資源の適切な利用等の推進という観点から鐘撞堂山の保全と利用促進について、深谷市の考えを聞きたい。

基本計画のもとで環境づくりに努めていきたい。①生き物にやさしい自然環境の保全・生息環境の整備に努める。②被害の著しい外来生物等の駆除など、県の実施計画に基づき対策を行う。③平成21年から3カ年、希少動植物の保護や登山道の整備を実施している。活用については、里山の景観形成を推進し、自然を学ぶ場としていきたい。

高齢者介護手当支給事業の改善は？

支給対象者は、介護保険第1号被保険者親族だが、居宅介護という立場から考えると、第2号被保険者親族にも同様のサービスを考えるべきでは？

高年齢者施策制度のため、支給範囲の拡充は考えていない。

道路ボランティア制度の創設を！

近年頻発の、車両損傷撲滅を目指し、市民に協力を呼びかけてみては？

本来は、市のパトロールで見守るべきだが、自治会周知等していきたい。



鐘撞堂山の希少動植物の自然保全

Q

公民館長は現役職員とOBがいるが

A

現役の職員を検討したい

村川 徳浩

公民館長は経験豊富で安い賃金で働いていただける市役所OBに統一してはどうか。

非常勤特別職には週30時間という労働時間の制限があるが、公民館運営のさらなる充実を図るため、平成24年度以降は勤務時間の制限を受けない正規職員を検討してまいりたい。

厳しい財政状況の中、定員適正化計画で職員数を減らすためには、OBの積極活用が望ましいのではないかと。

非常勤特別職の熱意で今まで何とか乗り越えてこられたが、突発的な対応等を考えると正規職員が望ましい。

給与削減特例法に対する対応は

全国に先駆け深谷市職員の給与を削減し、その削減した分を被災地復興支援のために使ってはどうか。

行財政改革で事務の効率化と経費削減に努め、また、職員の削減を行つたうえで、職員給与も他市に比べて低い復興支援も深谷市独自に可能な限りの支援を行つていく。特例法による給与削減については慎重に検討していきたい。



全国ねぎサミット2011

Q

ごみ収集所設置の明確なルール作りを(新築共同住宅)

A

考えていない。現状の新設基準により設置していく

五間くみ子

開発行為に該当しない小規模な共同住宅を建設する際、市への協議がないため収集所が新設されないこともある。こうした場合の今後の対策は。

市内や近郊の建設業者へ手順書を通じ自治体に協議のない場合の情報提供を依頼し、市が業者へ手順説明。共同住宅等の設置基準の制定は。地域の事情がさまざまであり、詳細な設置基準を定めるのは難しい。

いのちを守る施策、自殺予防対策

国内の自殺者数は年々増加傾向にある。本市の直近の状況は。

平成20年43人、21年31人、22年45人で、自殺対策は重要と認識している。

自殺予防、これまでの取り組みは。

講演会の開催や相談窓口周知のチラシ作製、県との共催による相談会や講座等を行った。また、メンタルヘルスチェックのできるシステム「こころの体温計」を試行的に導入した。

自殺の原因は多様であり、市における庁内連携が重要では。この体制は。今年度、自殺予防対策関係課長会



こころの体温計

携帯電話のかたは、以下のQRコードをご利用ください。



「議会だより」はホームページでも見られます。市のホームページを開き、「深谷市議会」→「市議会だより」(PDF版)の順にクリックしてください。創刊号から今号までご覧いただけます。

一般質問記事の掲載は、通告順です。